

第 23 区

定数 20 名 候補者 20 名

候補者氏名（受付順）

1. 氏名 2. 生年月日 3. 主たる勤務地 4. 経歴 5. 抱負 6. 現職/新任/再任

1. 田尻 達郎 2. 1963/7/30
3. 九州大学病院 小児外科
4. 1988 年 九州大学卒
2011 年 京都府立医科大学小児外科学教授
2021 年 九州大学小児外科学教授
日本外科学会：理事・代議員・情報広報委員長・
ダイバーシティ推進副委員長
5. 日本外科学会と日本小児外科学会とのさらなる連携を促進することで日本外科学会の発展に貢献したいと思います。また、次世代を担うリサーチマインドをもった外科医および小児外科医の育成に尽力したいと思います。
6. 現職

1. 田中 文啓 2. 1960/10/21
3. 産業医科大学病院
4. 1986 年京都大学医学部卒業
京都大学呼吸器外科関連病院で研修
1996 年京都大学医学部呼吸器外科助手
2001 年同上講師
2005 年兵庫医科大学呼吸器外科准教授
2010 年産業医科大学第 2 外科学教授
5. 外科学, 特に呼吸器外科, の進歩発展に少しでも寄与したいと思います。同時に, 若い外科医の教育・修練にも尽力し, 医師の働き方改革と良き外科医の育成の両立を図りたいと思います。
6. 現職

1. 和田 秀一 2. 1965/11/20
3. 福岡大学心臓血管外科
4. 1990 年福岡大学医学部卒業, 広島大学第一外科入局
2000 年フランス, ボルドー大学心臓血管外科
2005 年川崎幸病院大動脈センター
2011 年福岡大学心臓血管外科准教授
2016 年福岡大学心臓血管外科教授
5. これまで 23 区の選挙管理委員を努めてまいりました。若手外科医の育成, 男女共同参画, 働き方改革など積極的に取り組んでいきたいと考えております。
6. 現職

1. 中村 雅史 2. 1963/1/27
3. 九州大学病院
九州大学大学院医学研究院 臨床・腫瘍外科
4. 1988 九州大/1999 同大学院卒, 1999 ハーバード大留学, 2001 九州大助手, 2011 川崎医大消化器外科主任教授, 2015 九州大臨床・腫瘍外科教授, 2018 同大副院長 (2022 病院長), 現在に至る
5. 学術委員長, Surgical Case Reports 副編集長, 医療安全管理副委員長等を拝命中です。外科志望者の減少や働き方改革の流れの中で, 若手の負担軽減可能な学術集会の改革に取りくんでいます。
6. 現職

1. 長谷川 傑 2. 1968/12/23
3. 福岡大学病院
4. 平成 5 年 京都大学医学部医学科専門課程 卒業
平成 18 年 京都大学医学部附属病院 消化管外科 助手
平成 22 年 京都大学医学部 消化管外科 講師
平成 28 年 福岡大学医学部 消化器外科 教授
5. 内視鏡外科手術・ロボット外科手術の教育に力を入れていきます。どうぞよろしく申し上げます。
6. 現職

1. 吉住 朋晴 2. 1967/12/23
3. 九州大学大学院消化器・総合外科
4. 平成 4 年九州大学医学部を卒業後, 九州大学第二外科で研鑽を積んだ後に令和 4 年から九州大学消化器・総合外科教授に就任。平成 28 年から日本外科学会代議員, 令和 2 年から日本外科学会英文誌編集委員を務めている。
5. 外科医を志す若手医師のために情熱を持って外科学の指導・教育を行ってきました。日本外科学会代議員として外科学のさらなる発展に貢献できるよう, 尽力いたします。
6. 現職

1. 徳永えり子 2. 1968/10/30
3. 国立病院機構 九州がんセンター
4. 1994年3月九州大学医学部卒業後、九州大学第二外科に入局。九州大学病院 助手、特任講師、九州連携臨床腫瘍学准教授を経て、2015年4月より国立病院機構九州がんセンター乳腺科 部長として勤務。
5. 女性外科医として様々な工夫や努力、周囲との協力により、これまで蓄積してきた経験や知識を活かして、外科学の進歩、日本外科学会のさらなる発展と会員のため、また、患者さんや社会のために尽力する所存です。
6. 新任

1. 沖 英次 2. 1967/4/13
3. 九州大学病院
4. 1993年九州大学卒業、九州大学病院、九州がんセンター、別府医療センター、米国ダナ・ファーバー癌研究所等で修練、2011年より九州大学消化器総合外科講師、2022年より同准教授。
5. 日本の外科学の発展を推進するため、ロボット支援手術や遠隔アノテーションをはじめとした最新の技術を積極的に導入し、若手外科医の不足という課題に真剣に取り組む所存です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。
6. 再任

1. 塩瀬 明 2. 1971/3/31
3. 九州大学大学院医学研究院循環器外科
4. 1995年九州大学卒。2008年クリーブランドクリニック、2011年ピッツバーグ大学、2013年テンプル大学に勤務。2016年九州大学循環器外科教授。2018年病院長補佐兼任。
5. 医師の働き方問題や外科医不足が憂慮される昨今、会員の為の学会であることを再認識し、最新の知識・知見を発信できるよう尽力致します。社会に評価される外科医の育成、外科学発展のために努力致します。
6. 現職

1. 赤星朋比古 2. 1969/4/30
3. 九州大学医学研究院 救急医学講座
4. 1995年九州大学医学部卒業し第二外科入局。2010年からは九州大学医学研究院 講師、准教授となり救急と災害医療に従事。2023年6月より、同大学医学研究院 救急医学講座 教授となり現在に至る。
5. 外科各分野の高度専門化にともない、外科医の体幹部外傷外科診療の対応能力の低下が問題となっています。これまでの経験を活かし、外科医の外傷対応能力および救急診療能力の向上に努めたいと思います。
6. 新任

1. 田山 栄基 2. 1965/11/24
3. 久留米大学
4. 1990年久留米大学医学部卒業
1994年久留米大学大学院卒業
2008年九州医療センター
2020年久留米大学外科学講座心臓血管外科教授
5. 若手外科医の教育と研修の強化を通じて、卓越した外科医の育成に尽力し、同時に女性医師を含む多様性の推進に取り組みます。外科医療の進歩と当学会の繁栄に貢献したいと考えています。
6. 現職

1. 佐藤 寿彦 2. 1970/9/29
- 3.
4. 平成9年京都大学医学部卒業
同年5月京都大学胸部疾患研究所医員
平成21年京都大学医学研究科博士課程修了
平成21年同呼吸器外科助教
平成26年同准教授
令和元年福岡大学医学部准教授
令和3年福岡大学医学部教授
5. 小生は日本呼吸器外科学会では総合教育委員会、手術教育部会、安全技術認定部会などに所属し胸腔鏡・ロボット支援下手術の教育と普及に微力ながら努めてまいりました。どうぞよろしくお願ひいたします。
6. 現職

1. 久下 亨 2. 1966/8/3
3. 久留米大学外科学講座
4. 1993年久留米大学医学部卒業久留米大学外科入局
1999年仏国ボルドー第二大学留学
2011年久留米大学外科学講師
2020年久留米大学外科学准教授
2021年久留米大学外科学教授（肝胆膵外科）
5. 私はこれまで30年間外科学会会員として診療と教育，研究に従事して参りました。今後も外科学会の発展のため，若手外科医師の育成や地域医療の充実に微力ながら貢献したいと思ひます。よろしくお願ひ申し上げます。
6. 現職

1. 平田 敬治 2. 1962/10/5
3. 産業医科大学第1外科
4. 1987年産業医科大学卒業，1994年産業医科大学第1外科助手・講師（1996～1998，2000～2001年Yale大学留学），2009年福岡山王病院外科部長，2015年産業医科大学第1外科教授
5. 消化器外科・大腸肛門領域の診療・研究・教育に携わっており，本学会では教育委員会等の活動を行っています。女性会員も含めた会員数増加への広報活動も含めた本学会の今後の発展に尽力できればと思っております。
6. 現職

1. 増田 佳子 2. 1974/3/19
3. 福岡大学病院
4. 1999年熊本大学医学部卒業後，消化器，乳腺，呼吸器外科の研修を熊本大学および関連施設で行った。大学院卒業後，呼吸器外科専門医を取得し，現在福岡大学病院にて呼吸器外科・乳腺外科に従事している。
5. 医学部入学者に女性の割合が増加し，外科医不足解消のためには女性外科医の育成が急務と思ひます。自分の経験，反省を踏まえて，外科医として継続できるよう働き方改革や教育に尽力したいと思ひます。
6. 新任

1. 久保 真 2. 1966/7/12
3. 九州大学病院
4. 1995年佐賀医科大学卒業 2005年九州大学病院・第一外科助手 2016年九州大学病院・乳腺外科講師 2020年九州大学大学院・臨床・腫瘍外科准教授 2023年九州大学病院・乳腺外科診療科長
5. 学会活動を通じて，専門医の育成と専門医取得後のキャリア・アップの機会を提供できればと考えています。今後も，次世代の外科医育成，診療，研究の発展に貢献したいと思ひます。
6. 現職

1. 田中 真紀 2. 1954/8/1
3. 独立行政法人地域医療機能推進機構 久留米総合病院
4. 昭和55年久留米大学卒業
平成18年久留米大学外科准教授
平成23年久留米大学外科客員教授
平成24年現病院院長
日本外科学会専門医・指導医
日本乳癌学会専門医・指導医
福岡県男女共同参画推進賞受賞
5. 外科臨床医として，さらに女性医師としての経験を基に，今後の外科学の発展に貢献したい。男女ともに夢を持って，生涯にわたり外科医として働ける環境整備ができるように力になりたいと思ひます。
6. 新任

1. 加治 建 2. 1962/7/22
3. 久留米大学医学部
4. 1987年6月鹿児島大学小児外科入局。1999年鹿児島大学医学部小児外科助手，2005年カルガリー大学留学，2021年11月久留米大学医学部外科学講座小児外科部門主任教授，現在に至る。
5. 外科医の重要性，必要性を広く社会に認知してもらおう活動，若手外科医の教育と育成，サブスペシャリティ領域との連動した教育体制の確立，外科手術の安全の向上に向けた活動を通して学会の発展に尽力します。
6. 新任

1. 藤田 文彦 2. 1969/5/25
3. 久留米大学外科学講座
4. 1995年長崎大学医学部卒業
1995年長崎大学第二外科入局
2005年長崎大学移植・消化器外科助教
2015年同 講師
2017年久留米大学外科講師
2019年同 准教授
2023年同 主任教授
5. 今回初めて日本外科学会の代議員に立候補させていただきました。私のこれまでの外科医としての経験を十分に発揮し、日本外科学会の発展のため、そして外科医育成のために尽力する所存でございます。
6. 新任

1. 光岡 正浩 2. 1964/9/1
3. 久留米大学外科
4. 1989年3月久留米大学医学部卒業，同年5月久留米大学医学部第一外科入局。2006年佐賀大学胸部・心臓血管外科診療准教授，2015年久留米大学外科准教授，2018年同教授に就任し現在に至る。
5. 医師免許取得後34年間外科の道を選択し，呼吸器外科専門医を取得し，各学会の評議員，代議員等を務め，臨床・研究・教育に従事して参りました。今後も外科学発展のために粉骨砕身の思いで努力いたします。
6. 現職